

「阿波ふうど情報」 (vol.17)



発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-624-7362 / ファクシ 088-624-8751

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館8階

阿波ふうど
AWA FOOD

「生産振興対策」情報

○完熟キンカン「ぶちまる」産地が芽生えています。(提供：高度技術支援課)

平成28年度から高度技術支援課、地域農業支援センター、JA・JA全農、とくしまブランド推進機構が連携し、阿南市、阿波市、海陽町で完熟キンカン「ぶちまる」の産地化に向けて取り組んでいます。

3倍体キンカン「ぶちまる」は、国が育種した品種で、従来のキンカンと比べると種が極めて少なく食べやすいのが特徴です。

より商品性を高めるため、雨除けハウスで栽培することで、出荷時期の前進化と、高品質化を目指しています。

本年2月には、とくしまブランド推進機構の協力で、実需者向けのテストマーケティングを行った結果、洋食店シェフからは「ほどよい酸味の強さ」と「種がないので調理向き」等の評価を得ました。

今後は、生産者と関係者が一体となって販売戦略の実現に向け取り組んで参ります。



色づくキンカン



キンカン研修会の様子



「ぶちまる」の荷姿



大阪中央市場での研修風景

「イベント情報」

「徳島県GAP推進シンポジウム」報告

去る3月21日、「五輪で飛躍！今求められる農業生産工程管理」をテーマに徳島県GAP推進シンポジウムが開催されました。シンポジウムには生産者やJA関係者など約100名の参加があり、GAP導入や東京オリ・パラへの食材供給の関心の高さがうかがえました。



シンポジウムの様子

シンポジウムでは、「農業高校が取得したGlobal GAP」、「小売業界が求めるGAP」、「国の推進方策」などを聞き、GAPの可能性や東京オリ・パラへの食材提供方法などを学ぶことが出来ました。

その中、農林水産省生産局 栗原分析官からは、①「国産農産物の品質は素晴らしいが、今後世界基準でないと認められなくなる」、②「世界基準のGAP取得ではコスト面などの課題も多いが、解決策もある」、③「GAPは東京オリ・パラ後、当たり前になる」など参考になる報告でした。

特に、②の解決策に関しては、「申請経費の多くがコンサルタント料であり、この相談業務を指導資格を持った県普及指導員やJA営農指導員が行うことでコスト低減の可能性ある」とのことでした。

各指導機関の役割が重要となっています！

「とくしまブランド推進機構」 愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波（徳島）の風土に育まれた幸をもたらす」ということを表現



「とくしまブランド推進機構」は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。